**令和７年度**

**東部エリア観光コンテンツ等造成及び賑わい創出支援**

**補助金のご案内**





ライトライン開業をきっかけに、市内ライトライン沿線において、豊富な農資源をはじめ、鬼怒川や飛山城跡等の地域資源を活用した体験型ツアーや，ライトラインの停留場周辺において賑わい創出につながるイベント等を実施する方を応援します！！

|  |  |
| --- | --- |
| 募集期間 | 補助額（補助率：１／２） |
| 令和７年５月１９日～令和７年７月１８日随時受付・交付※予算がなくなり次第終了 | 上限額１００万円 |
|

**宇都宮市　魅力創造部　観光ＭＩＣＥ推進課**

**1.　補助の目的**

**ライトライン開業をきっかけに、市内ライトライン沿線の東部エリアにおける地域資源の掘り起こし・磨き上げや賑わいの創出に資する取組を支援することで、本市の観光振興や観光誘客を促進する。**

**２.　対象となる事業**

【**共通要件】**

・　補助金交付決定後から令和８年３月末までに事業を実施し、実績報告を完了す

るものであること

・　新規事業又は既存事業を拡充するものであること

・　年度内の申請が、１法人・団体につき１回のみであること

・　申請事業について、HPやSNS、チラシ等で積極的な情報発信を行うこと

・　アンケートなどで、申請事業の評価や参加者の属性等を把握すること

**【補助メニューごとの要件】**

**①　体験型観光ツアー等造成支援**

**市内ライトライン停留場を発とした、東部エリアの地域資源の掘り起こし・磨き上げにつながる体験プログラムやツアーなどのコンテンツ造成に関する事業で、次年度以降も継続が見込まれる事業**

※　市内ライトライン停留場を起点としていれば、終点は市内であればどこでもよい。

ただし、ツアー行程にライトライン乗車を必ず組み込むことを条件とする。

**＜補助対象事例＞**

**＜参考：東部エリアの主な地域資源＞**

主なものとしては、酒蔵、工場（清原工業団地、平出工業団地）、ライトライン車両基地、飛山城史跡公園、鬼怒川河川敷（石井河岸・水制の一つである「かっけし」など）、季節の花木、サイクリングロード、農園（農産物）、宇都宮の農産物を販売、提供するお店・カフェなどが挙げられます。

**＜参考：東部エリア・地域資源　参考URL＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **項　　目** | **ＵＲＬ** |
| ライトライン沿線エリア「LIGHTLINE OSANPO BOOK」 | https://u-movenext.net/information/179 |
| LRT車両基地 | https://u-movenext.net/information/181 |
| 飛山城史跡公園　「とびやま歴史体験館」 | https://schit.net/tobiyama-official/ |
| 文化財「宇都宮の歴史と文化財」 | https://utsunomiya-8story.jp/story/story1/ |
| サイクリングロード「宇都宮自転車マップ」 | https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kurashi/jitensha/1006131.html |
| 農園（農産物）・地産地消推進店「宇都宮アグリネットワーク」 | https://www.u-agrinet.jp/shop/ |
| 宇都宮餃子・東部エリア | https://www.gyozakai.com/map/?area=9 |

**②　賑わい創出支援**

**市内ライトライン停留場周辺において，新しい観光コンテンツを生み出すなど東部エリアの魅力ある地域資源を活用し，市内外からの観光客等の来訪促進や恒常的なライトライン沿線の活性化につながる取組などで，次年度以降も継続が見込まれる事業**

**＜対象事業の要件＞**

・　市内ライトライン沿線の恒常的な賑わいの創出につながるもの

・　イベント会場などが市内ライトライン停留場周辺（※）であるもの

※　概ね、ライトライン停留場から徒歩圏内のエリア（概ね５００ｍ以内）とします。

※　例：ライトキューブ宇都宮（交流広場も含む），JR宇都宮駅東口暫定広場（複合施設棟建設予定地），マロニエプラザはエリア対象外です。

※　公有地・私有地等は問いません。

・　市内外からの観光客を含む来訪者を対象とするもの

　　　＜補助対象事例＞

例）　マルシェや朝採市，音楽祭などの賑わいの創出につながる取組など







**３. 補助対象者**

**市内に事業所を有する民間企業、地域団体等　　※詳細は要綱を確認**

**４．補助金額　※千円未満の端数は、当該端数を切り捨てた額を補助金の額とする**

**【 上 限 額 】　１００万円**

**【補助率】 補助対象経費の２分の１以内**

**５．審査方法**

下記に掲げる項目ごとに審査委員会による審査を行います。

なお、審査の際に申請者に対して申請内容を確認する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **項　　目** | **審査の視点** |
| ⑴具体性・実現性 | ・内容、スケジュールなどに具体性があり、実現可能性の高い事業か・（体験型観光ツアー等）市内ライトライン停留場発か　（賑わい創出）会場等が、市内ライトライン停留場から徒歩圏内のエリアか・安全性が十分に考慮された事業か |
| ⑵継続性 | ・継続性や発展性が期待できる事業か・経済的な自立（次年度以降、補助金等の支援なく、事業を実施することが可能か）に向けた工夫が施された事業か |
| ⑶地域特性 | ・ライトライン沿線特有の地域資源等を活用しているか・地域資源の掘り起こし・磨き上げにつながる事業か |
| ⑷妥当性 | ・費用対効果が十分に期待され、収支予算が適切か |

※　下記事業内容を実施する場合は、審査時に加点いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| **加 点 項 目** | **事業内容** |
| (1) 新しい観光コンテンツを発掘する事業 | ・観光地化していないコンテンツにおいて、初めて観光客を受け入れるツアー・市内東部エリアの地域資源（ライトライン除く）を複数巡るツアー等 |
| (2) ライトラインを積極的に活用した事業 | ・１日乗車券を活用したツアー・貸し切りツアー |
| (3) 経済波及効果が高く期待できる事業 | ・市内宿泊を誘導するツアー・年間で複数回実施するツアー |

**①　体験型観光ツアー等**

**②　賑わい創出**

|  |  |
| --- | --- |
| **加 点 項 目** | **事業内容** |
| ⑴　ライトラインを積極的に活用した事業 | ・１日乗車券と連携したイベント・市内ライトライン沿線の施設等と連携したイベント |
| ⑵　経済波及効果が高く期待できる事業 | ・会場周辺の企業等が複数出店または協力するイベント・長期間又は複数回にわたり実施するもの |

**６．補助対象経費**

下記の経費を補助対象経費とします。

|  |  |
| --- | --- |
| **補助対象経費** | **内　　訳** |
| **報償費** | 事業を行うために必要な専門家等（専門家や講師）に対する謝金 |
| **需用費** | 消耗品費、印刷製本費 |
| **役務費** | 通信運搬費、広告料、手数料、イベント保険料 |
| **委託料** | 事務、事業等に直接実施するよりは、他者に委託して実施する方が効率的なものについて、委託するための必要な経費（例：ポスター・チラシの作成委託（デザイン含む）、テント等の設営委託、当日の警備委託　等） |
| **使用料及び賃借料** | 自動車借上料、会場借上料、ＯＡ機器借上料、その他の機材等の借上料 |
| **備品購入費** | 主として事業の執行に要する備品の購入に要する経費、衛生用備品の購入に要する経費※対象不可事例：タブレットやパソコン等の本事業以外でも使用することが想定される汎用性の高い備品 |
| **その他** | その他市長が必要と認める経費 |
|  |  |

|  |
| --- |
| ▲**対象とならない経費**⑴　事業の目的と無関係な経費⑵　経常的な団体運営に係る経費⑶　飲食物や宿泊に係る経費⑷　試作開発にかかる経費⑸　施設整備・修繕費⑹　人件費⑺　割引額に相当する売り上げへの補填⑻　領収書がない等、使途が不明な経費⑼　自社が保有する車両や備品の使用に係る経費⑽　その他市長が適切でないと認めたもの |

**７．事業の流れ**

1. **交付申請　※事業実施前に申請してください。**

・補助金等交付申請書

・交付を受けようとする事業の事業計画書

・交付を受けようとする事業の収支予算書

・交付を受けようとする事業に係る経費の見積書

・事業を実施する際に賃貸借契約が必要な場合は、賃貸契約書の写し

・法人の場合はその法人の登記事項証明書

・申請者の市税完納証明書

※補助金の活用を希望する場合は、必ず事前にご連絡のうえ提出してください。

**②補助金交付決定**※交付決定通知書を送付します。

**③事業実施**

※　交付決定された内容に従い、事業を実施してください。

※　事業内容を変更したいときは、予め「変更等申請書」の提出が必要です。

※　変更内容によっては補助金を交付できない場合もあるため、必ず事前にご相談ください。

**⑥補助金交付**

・交付請求書

・補助金交付決定通知書の写し

・口座振込依頼書及び振込先通帳の写し

**審査（書類審査又は審査委員会による審査）**

**④実績報告**

・実績報告書

・事業報告書

・事業収支決算書

・当該補助対象事業の経費に係る領収書の写し

・実施状況が確認できる案内チラシや写真等

・アンケート等調査結果の写し等

**⑤交付額の確定**※交付確定通知書を送付します。

**８．申請方法**

（１）受付期間　　令和７年５月１９日から令和７年７月１８日まで

※予算がなくなり次第終了します。

※受付時に事業内容をお尋ねしますので、必ず事前にご相談のうえ提出してください。

（２）提出物　　(様式は市のホームページに掲載)

①補助金等交付申請書（様式第１号）

②交付を受けようとする事業の事業計画書（任意様式※参考様式あり）

③交付を受けようとする事業の収支予算書（任意様式※参考様式あり）

④交付を受けようとする補助金等の算出の基礎（見積書等）

⑤登記事項証明書　※申請者が法人の場合のみ

⑥申請者の市税完納証明書

⑦事業を実施する際に賃貸借契約が必要な場合は、賃貸契約書の写し及び借主の施工同意書の写し

**９．問い合わせ先**

宇都宮市役所　魅力創造部　観光ＭＩＣＥ推進課　観光戦略グループ

受付時間：平日8時30分～17時15分

　　〒320-8540　宇都宮市旭1-1-5

　　TEL：028-632-2456　　FAX：028-632-2765

　　Mail：kanko@city.utsunomiya.tochigi.jp

**１０．Q&A**

**１　対象事業について**

Q.　チラシやポスターの作成は対象になりますか？

A. 　対象になります。

Q.　対象事業にならないものはどんな事業ですか？

A. 　以下の事業は対象としません

・　市などから財政的支援を受けている又は、申請しているもの

・　趣味的活動を目的とするもの

・　物品等の購入・配布・設置を主たる目的とするもの

・　公序良俗に反するなど適当でないと認められるもの　など

Q.　既に造成・開催されたツアーは、補助対象となりますか？

A. 　対象となりません。ただし、事業内容が拡充・変更されていると事務局が判断した場合は、対象となります。

Q.　 補助回数は１回ですが、複数回内容が異なるツアーを実施してもよいですか？

A. 　問題ありません。審査の際、加点対象となります。

Q.　ツアー造成やイベント会場の設定にあたり、公共施設等の調整はお願いできますか？

A. 　できません。申請者自らで調整ください。

Q.　なぜ， ライトキューブ宇都宮（交流広場も含む），JR宇都宮駅東口暫定広場（複合施設棟建設予定地），マロニエプラザはエリア対象外なのですか？

A. 　既に賑わいが創出されているエリアであるため，対象外としています。対象のエリ

アに該当するかどうかはお問い合わせください。

**２　対象経費について**

Q.　備品の対象はどのようなものですか？

A. 　申請する活動に直接必要な機材・備品で、新規であり、その備品がなければ活動・

事業が成り立たないものとします。

※　ただし、汎用性が極めて高いもの（パソコン、タブレット、コピー機等）は対象

外です。

Q.　 商品券やクーポン券作成は補助対象となりますか？

A. 　 商品券やクーポン券の印刷代は補助対象となりますが、当該券面額の補填額は補

助対象となりません。

**３　その他**

Q.　実績報告会などはありますか？

A. 　実績報告会は、予定しておりません。

　 ただし、実績報告書の提出は必須となります。また、当該事業をホームページ等で紹

介させていただく可能性があるため、事業に興味をもった団体等に、内容等を紹介し

ていただく場合があります。

Q.　ツアーやイベント等が天災により中止になった場合、補助金はどうなりますか？

A. 　災害等で中止となった時点までに要した経費は補助の対象となります。

Q.　補助金額より多くの事業費がかかった場合の処理はどのようにすればよいですか？

A. 　収支計画より多くの事業費がかかった場合においても、交付決定後の補助金額を増

やすことはできません。自己資金での対応をお願いいたします。